

(特非) アサザ基金

霞ヶ浦水源地の総合保全に向けたコンソーシアムの設立とコミュニティビジネスの流域ネットワーク化

活動地域  霞ヶ浦流域



再生した耕作放棄地（谷津田）での田植え作業

課題

霞ヶ浦の流域では、水源地を管理してきた集落の過疎化が進み、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進んでいる。流域全体に広がる水源地を総合的に保全再生することが課題となっている。

目標

霞ヶ浦流域の主要3水系で、水源地の耕作放棄地再生と森林整備を、過疎集落の活性化と一体化したコミュニティビジネスとして興し、流域展開への体制作りを行う。



今後の
展望

古民家に居住する人たちのライフスタイルをモデルに都市部からの移住者やテレワーク利用者の誘致なども進めていきたい。今年度は、地元集落や学校との協働事業を本格化するほか、コミュニティビジネスのモデルを具体化していきたい。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

水源地再生と集落活性化を一体化したコミュニティビジネスの先行事例として、牛久市島田町の古民家（空家）を活動拠点するために改装した。古民家に居住して水源地再生に関わる人材が5人確保できた。集落自治会や地元公立学校との協力連携に向けた体制ができた。古民家でイベント・セミナーを計15回開催した。参加人数は642人。生物調査を各水源地で3回実施した。計4.3haの耕作放棄地と森林を整備した。家畜の飼育技術のあるスタッフを新たに雇用して有畜農業への展開を図っている。



水源地での放置竹林整備のイベント

水源地の再生面積 **4.3 ha**

イベント参加人数 **642人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **14%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの影響で、計画していた集落間の交流が難しくなった。対象者に高齢者が多く、感染防止に配慮する必要があった。

■ 工夫した点

イベントの参加者を地域に絞ったり、スタッフが個別に集落関係者を訪ねて聞き取りを行うなどの工夫をして実施した。

〒300-1222
茨城県牛久市南3-4-21
電話：029-871-7166

E-mail：asaza@jcom.home.
ne.jp

HP：http://www.asaza.jp

